

友が島ごみ調査と観光 2026年4月17日および19日 澤村

加太駅⇒加太港⇒棧橋⇒南垂水海岸⇒第3砲台跡⇒タカノス山⇒棧橋 ⇒ 加太港⇒加太駅

10:00	10:20	11:20	12:00	14:50	15:10	16:00	16:50	17:20
	11:00		14:00			16:30		

近畿ブロック自然保護委員会主催で4月17日(金)および19日(日)の両日ともフェリーが無事出航し、17日14人、19日11人の参加。

回収ごみ内訳は、両日合計でペットボトル:51kg、プラゴミ:284kg、缶ビン:41kg、不燃ごみ・漁具:282kg(重量測定不可の網など約100kgは除く)などで総重量:660kgと予想だにしない超超過達成、しかもわずか1時間で。

ごみ重量には驚きですが、ブイの多いこと、両日で30個ぐらいいはあったはず、漁網などは200~300kg。WWF報告では、海のごみ重量と魚の総重量はほぼ同じで漁具が多いとのこと。WWF報告を調査により証明するかのごとく状況は同じなようです。今思えばよくくじけずがんばったなど、大きな流木下の漁網はほとんど諦めていましたが仲間の力で回収に成功。また、重量には表れないが発泡スチロールも多かった。流木の奥深くに潜み回収できないものも多かった。ペットボトル:51kgは、1個20gとすれば、2550個分、お一人100個を回収ことになる。

結局、去年10月と今月の2回で南垂水海岸のごみは8割近くを回収したのでは思われる。

そのゴミ総重量:720+100kgと判断する。総括は今後の会議で深めることとする。

ごみ調査の成果に気をよくして、お楽しみの観光に出発。まずは第3砲台跡へ、レンガ造りの要塞でかなり大きい。地下室は17インチ砲弾造りの場所だったよう、2門×4=8門あった。明治の時代に!!と感心した。

お次は、友が島の最高峰:タカノス山、1等三角点で1mほどの盛り土の上にあった。近くに展望台があり見晴らし抜群なので親子連れ観光客でにぎわっていた。灯台横の子午線広場にはモニュメントが設置され、「この真北に明石の時計台がある」と確認しました。棧橋近くのカフェーに戻ると「台湾リス」3匹が出迎えてくれた。最近「台湾しか」が岬町に上陸したらしく、ニホンジカとの交配を大変心配しているとのこと。

観光目的で「台湾」を導入したらしいが、何が起ころやら心配事がまた増えそうである。

友が島のゴミを少しでも減らすため、6月7日のクリーンハイクは山を責める。がんばりましょう。

各会の 事務局 又は 組織担当者 様

2026年度 クラブ役員名簿 提出の お願い

労山 組織部

平素は、組織部活動にご理解を賜りお礼申し上げます。

貴会におかれましては新年度に当たり新しい役員体制の会もあるかと存じます。

五月初めに会役員名簿の提出をご依頼しているところですが、期限が近づいてきております。まだ提出されていない会はご回答いただきますようお願いいたします。

送付先: 連盟の FAX(06-6467-8545)へ送信 または 組織部 下窪まで

ooyama3783iko38@yahoo.co.jp

回答期限 5月30日

なお、本役員名簿は、府連盟各種専門部からの連絡調整にも活用させていただきます。

現在、ご回答いただいている会は 下記の14会です。

YMCC げんごろう テルル ハイジ モンテス モントレー 高槻 雑木の会
吹田 大阪スキー 八尾山の会 淀屋橋 二十歩 つりばし

宜しく願いいたします。

出席者 会事務所の参加者 13名 ZOOM参加者 15名 (重複者あり)

1. 事務局 (大見)

- ・全国連盟のインスタグラム学習会 6/26 (金) 19:00～ Zoomにて開催予定の報告

2. 組織部 (下窪)

- ・【百名山の輪】の現況と予定の報告
第1回 (6/19～23) の開聞岳は23名の参加申込で満員御礼により締切済。
第2回 (7/3～5) は大山の予定をowafメールで配信予定。
- ・9/3 組織担当者会議にて会員拡大について、各会の交流を図る。事務所で開催予定
- ・11/7-8 第14回クラブ交流会を六甲自然の家で予定。種々の企画を検討中。
- ・役委員名簿の更新予定について、各会の協力を願う

3. 女性委員会 報告なし

4. 自然保護委員会 (澤村)

- ・山門水源の森保全活動 植生調査、枯れ枝回収、除草、道標まわりの軽作業
実施予定日: 5月2日 満員御礼で締切済

- ・友ヶ島ごみ調査と観光

4月17日(金) 近プロで14名参加。わずか1時間で、ごみ総重量: 440kgを回収 多量の浮ブイや漁網が散乱していた。

- ・クリーンハイクの準備開始

3/23、大阪府を含む自治体に協力要請文書を発送。

後援名義使用許可は10の府市町村の協力を得る。

- ・11月14日～15日 自然保護担当者会議 大阪で開催 ドンズル峯、産廃視察の予定
- ・最新しか情報 友ヶ島の台湾シカと、在来種の混血が懸念される。
- ・自然保護委員会 第2金曜日に変更。(zoom会議で予定)

5. 子どもの冒険学校 (大見)

- ・クライミング体験会: 4月19日 大津市 ひら元気村 子供6人 大人1人の参加で実施済。
- ・夏の冒険学校; 8月22-23日 大津市防村で実施予定。下記HPより申し込む受付中。

<http://www.osaka-rousan.com/news/2605/2605boken.pdf>

6. 海外委員会 (大見)

- ・4/13 第1回の報告会を実施
西宮山岳会の坂東さんのモンブラン登頂を報告。15名参加で盛況。
詳細は労山ニュース#482のP12のQRコードから知ることができる。
- ・次回 7月7日 アジアの山の報告を予定している。

7. 平和と登山委員会 (大西)

- ・5/3 おおさか総がかり集会
大阪市内で開かれている市民集会です。

国民平和大行進のコースの日程は、暑さ対策で行動は午前中で日数を増やす(8→14)。
各要所の日程が決まりましたら労山ニュース等でお知らせる。

8. 教育遭難対策部

1) 教育遭難対策担当者会議を開催 4月13日

無雪期の事故比率が約70%と多い。危険ヶ所の事前共有やリーダーの危険予知能力向上についての取組みが課題。

2) 春山入山情報の交換

春山の計画をしている方は入力をお願いします。 対象期間 4/1～5/31。

3) 4月4日、5日近畿ブロック搬出講習会が開催されました。

4) クライミングセルフレスキュー技術交流会【事前申し込み制】

- ・日時 2026年5月24日(日) 8:50集合 ～ 16:30ごろ終了予定
- ・場所 神戸登山研修所
- ・内容 クライミングにおけるレスキュー技術の実技講習。

申込先メールアドレス black_bear@bcc.bai.ne.jp

9. 第31期夏山ハイキングセミナー開校

- ・参加者応募数が低調。修了山行を立山にして充実した内容に取り組む。
- ・山を一から学びたい人に推奨。兵庫、奈良の他府県からも参加有。
- ・スタッフは65才以上でも可とし、スタッフ自身の技術を確認する機会に活用して欲しい。

10. その他

- ・訃報：全国理事長を担われた西本武志氏が4/17永眠された。 ご冥福をお祈り申し上げます。

春山連絡会

- ・19:30から 連盟事務所 Zoom 併用
- ・議題

1) 春山の気象 (高田さん)

今年直近の4/9～4/12の気象現象を天気図と重ねて、分かり易く、説明

2) 2025年度 大阪労山の事故状況報告 (大見さん)

無雪期の事故の多さに焦点を置き、危険予知などの注意喚起を促す
2年毎に重大事故が発生しているので、今年は特に注意が必要

3) 保険について (木村さん)

登山と衛星通信の現状と方向性について、au、docomo、softbankの事例で説明。

各種山岳保険の長短所を踏まえて、労山基金がメリットがあると思われる。(木村氏考察)

以上

文責：常任理事 きたろうハイキングクラブ 高桑

第53回全国一斉清掃登山・クリーンハイクへの呼びかけ

～ふるさとの山の素晴らしい自然を後世に引き継ごう～

私たち登山会員は、美しい山岳自然や貴重な山岳の動植物を守り、登山文化を広げていく使命があります。そのために、山を汚さず、ゴミは必ず持ち帰ることとしています。

また、ふるさとの山をいつまでもきれいにする目的で、1974年から全国一斉の清掃登山（クリーンハイク）を実施して今年で53回を迎えます。このような活動をこれからも続けていくために、私たちは、次の定める憲章でこれからも美しいふるさとの山を守っていきます。



2026年のクリーンハイクは、6月7日(日)に全国一斉で開催する予定となっております。コロナ感染症も落ち着いた現在、できるだけ多くの地方連盟の会員の方にご参加いただき、クリーンハイクによる自然保護活動の機運を高めていきましょう。

なお、最近は登山道周辺にはゴミが少なくなったという意見を多く頂いております。それぞれの地域により自然環境に対する多くの課題があるとも聞いており、クリーンハイクの実施に併せてそのような課題解決を図って頂きたいと思います。例えば、登山道整備・山小屋等の清掃活動・外来種の駆除活動などがあります。

また、クリーンハイクの集計も行っておりますので、実施された地方連盟の自然保護担当者等の方は、必ずご報告頂きますようお願い申し上げます。

2026年 日本勤労者山岳連盟
全国自然保護委員会

1. ゴミはすべて必ず家まで持ち帰りましょう。
2. 全国一斉のクリーンハイク等に積極的に参加して、地元の登山道周辺の清掃に努める。
3. 山での許可を得ない植物の採取は、法律に違反しています。また、登山道から離れて貴重な植物群落に足を踏み入れることも自然環境の破壊につながるのでやめましょう。
4. 山でのトイレは、多くの人が自然の中で行えば自然への大きな負荷となります。
トイレは必ず、登山口の周辺で済ませ、山小屋等で済ませるようにしましょう。山小屋や山岳トイレがない場合は、携帯トイレを使用するなどして山岳環境に負荷をかけないようにしましょう。
5. 特定の山やコースへの集中を避け、なるべく少人数で行動して登山道への負荷を減少させましょう。
6. 山岳の自然環境を破壊するような開発等にも関心を持ち、情報共有をして山の自然を守っていきましょう。

第25回

全国ハイキング交流集会のご案内

全国連盟ハイキング委員長 田上千俊

深田久弥生誕の地で！

高齢化問題、役員不足、登山寿命を延ばす歩き方など各地の経験を交流しましょう！

会員の高齢化で多くの会・クラブでは悩んでいます。役員若返りに成功した会や40歳代～50歳代の会員が入会し、元気を取り戻した会も生まれています。鹿屋体育大学名誉教授・山本正嘉先生が、「登山と体の科学」を発表されてから一年半余り、労山では各地で「登山寿命を延ばす歩き方とトレーニング」の講習を遭難対策部を中心として進め、昨年6月、ハイキングリーダー学校でも取り組みました。今、少しずつその成果が出ています。これらの経験も交流しあいたいと思います。今回、再度、「登山寿命を延ばす歩き方」の講習に取り組むことにしました。場所は「日本百名山」著者、深田久弥さんの故郷、石川県加賀市で下記の要綱で行います。講師は昨年同様の「安藤真由子さん」、半日かけて講義と室内での実技を実施する予定です。2日目は、これらの活動を含む、高齢化問題、会員拡大や安全登山問題など経験交流を深め、参加者の皆さんに希望を与える集会にしたいと思います。



深田久弥氏が初めて登山した富士写ヶ岳 942m

「登山寿命を延ばす歩き方とトレーニング」

6月13日(土) 基調報告の後、机上及び室内実技講習を実施

6月14日(日)

「分散交流会」8:30～11:00

今回、交流登山はありません。集会後、市内にある「深田久弥山の文化館」の見学、深田久弥氏が初めて登った「富士写ヶ岳」942m登山については個人行動となりますが、ご希望の方は主催者にご相談下さい。登山される方は連泊となります。

- ◆主催・主管 日本勤労者山岳連盟(担当ハイキング委員会)
- ◆講師 安藤真由子さん(鹿屋体育大学卒、体育学博士、健康運動指導士、登山ガイド)
- ◆開催日 2026年6月13日(土)～14日(日)
- ◆開催場所 生涯学習施設「セミナーハウスあいらす」
12:30 受付開始 13:00 開会(ホール)
13:30～17:30 講習(ホール)
最寄り駅「加賀温泉駅」から車で10分
- ◆募集定員 宿泊参加者40名、日帰り参加者10名 合計50名
- ◆申込先 全国連盟事務局
(申し込みは別途申し込み用紙を請求して下さい。申し込み用紙は地方連盟にも配信します)
- ◆締め切り 5月20日 定員になり次第締め切ります。
- ◆参加費 10,000円(1泊2食付き)、日帰り参加費は1,000円です。

日程



会場の「セミナーハウスあいらす」

全国遭難対策担当者会議 実施要項 (案)

日本勤労者山岳連盟
遭難対策部

期 日 2026年7月4日(土)～7月5日(日)

場 所 全国連盟1階会議室

目 的 山岳遭難事故を検証し、対策を考え事故防止に役立てる

参加対象 地方連盟遭難対策担当者及びそれに準ずる役員

日 程 4日 12:30 受付
13:00～14:00 基調報告 全国連盟遭対部
14:00～15:30 講義「健康と登山 体力測定・eペース登山から」
講師 斉藤篤司福岡県連顧問
休憩 30分
16:00～17:00 事故事例報告 事故経験団体より
17:00～18:30 質疑・応答・討論
19:00～21:00 夕食・交流会
5日 9:00～11:30 討論
全国遭対部まとめの報告の後、12:00 解散

費 用 1. 各地方連盟1名の交通費は全国連盟が負担します。
2. 4日の夕食・交流会費として一人2千円の負担をお願いします。

宿 泊 全国連盟事務所(シュラフ・マット持参)前泊・後泊OK
※ホテル泊を希望の場合は各自で予約(航空券や鉄道とパックで通常料金より格安の場合は一名分について全国連盟負担)
※連盟事務所に近い宿泊施設を希望で全国連盟事務局へ予約を依頼する場合は下記の料金が必要です。ただし、都内の宿泊施設は予約が大変取りづらくなっています。全国連盟事務所以外での宿泊を希望する場合は、早めの手配・連絡をお願いします。
東京ユースホステル(飯田橋駅直結)5,500円(相部屋、朝食付き)を希望する方は5月末日までに申し込んでください。

問い合わせ先 全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
FAX 03-3260-6331 E-mail jwaf@jwaf.jp

申込締切 6月18日(木) 別紙にて全国連盟事務局まで

労山カレンダー写真募集

2027
年版

募集締切

7月20日(月) 必着

採用された方には謝礼2万円

すべての応募者にカレンダー1部進呈

今回も労山会員の山写真でカレンダーを作りま
す。山や登山の素晴らしさ、魅力が伝わる1枚をお待ちしています。



応募規定

資格：労山会員

点数：一人5点まで

期日：2026年7月20日(月) 必着

写真：横位置のみ、合成不可

・データの場合

1000万画素数以上(縦2500×横3500ピクセル以上)

形式はJPEGまたはTIFF

・フィルムカメラ作品の場合

B4サイズにプリント、もしくはデータ化したもの

・人物が主題の作品は、写っている人の許諾を得ていること

※写真はトリミングさせていただくことがあります。

※カレンダー(B4判・中綴じ)掲載時の仕上り寸法は257mm×364mmです。

採用作品は下記にも掲載いたします。予めご了承下さい。

- JWAF journalの表紙

- 日本勤労者山岳連盟ホームページのトップ

スマートフォンで撮影される方へ

毎年、素敵な構図なのに画質の問題で選考外になる写真が多数あります。

縦2500×横3500ピクセル以上のサイズで撮影してください。

選考規定

採用数：表紙および1月～12月の計13点

選考：小松由佳さん(フォトグラファー)

応募方法

WEB応募

<https://ws.formzu.net/fgen/S49439517/>



郵送 CD-R又はUSBで送付。フィルムカメラでの作品はデータ又はB4サイズのプリント写真で送付。

氏名・所属会・地方連盟・住所・電話番号・メールアドレス、各作品名・被写体の山名(山域)・撮影年月日を明記してください。

送付先

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 日本勤労者山岳連盟

※返却を希望する場合は、返却先を記載して切手を貼った返送用封筒を同封してください。

各地方連盟皆さん！
Instagramを活用して

仲間を増やそう！

Instagram Zoom 講習会



6月26日

金

申込

全国連盟事務局宛
(jwaf@jwaf.jp)

19:00~

申込締切

6月24日(水)



申込はコチラからも

日本勤労者山岳連盟連盟組織部



大阪労山「山の教室」

講座の種類に関して、事務所だけの座学、リモートのみ、事務所とリモート併用、実技の4種類になりますのでご注意ください。受講履歴は事務局で管理されていますので、各会の中で受講履歴の把握等が必要であれば下記アドレスに遠慮なくお申し付けください。

kyouikusoutai@osaka-rousan.com

◆今年度日程

日程	科目	種別	主講師	主担当	受講料	定員
4月8日(水)	雪崩とその予測について	リモート併用	河野仁	高田和孝	¥500	—
4月15日(水)	ハイキングレスキュー 入門編	座学	木村治朗	三宅康文	¥500	15
4月19日(日)	ハイキングレスキュー 入門編	実技	木村治朗	三宅康文	¥1,000	15
5月16日(土)	地形図の読み方 入門編	座学	脇阪	井上真由美	¥1,000	12
5月17日(日)	地形図の読み方 入門編	実技	脇阪	井上真由美	¥1,000	12
5月19日(火)	パーティー論リーダー論1(概論)	リモート併用	中川和道	阪本 健之	¥500	—
5月22日(金)	ハイキングレスキュー リーダー編	座学	木村治朗	三宅康文	¥1,000	10
5月24日(日)	ハイキングレスキュー リーダー編	実技	木村治朗	三宅康文	¥1,000	10
6月2日(火)	遭難事例研究(無雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	大見則親	¥500	—
6月10日(水)	応急手当 入門編	座学	柳川憲一	木村治朗	¥500	20
6月16日(火)	夏山の気象	座学	山本賢治	高田和孝	¥500	20
6月30日(火)	遭難事例研究(無雪期) 実用編	リモート併用	中川和道	大見則親	¥500	20
10月20日(火)	パーティー論リーダー論2(法律)	リモート併用	中川和道	阪本 健之	¥500	—
10月27日(火)	Alpa イクラミングのための制動確保 入門編	座学	中川和道		¥500	12
11月1日(日)	Alpa イクラミングのための制動確保 入門編	実技	中川和道		¥1,000	5
11月7日(土)	地形図の読み方 スキルアップ編	座学	脇阪	井上真由美	¥1,000	12
11月8日(日)	地形図の読み方 スキルアップ編	実技	脇阪	井上真由美	¥1,000	12
12月1日(火)	遭難事例研究(積雪期) 入門編	リモート併用	中川和道	大見則親	¥500	—
12月15日(火)	遭難事例研究(積雪期) 実用編	リモート併用	中川和道	大見則親	¥500	—
1月13日(水)	冬山の気象	座学	高田和孝	山本賢治	¥500	20
1月19日(火)	山の病気予防	座学	中川和道	大見則親	¥500	20

◆ 6月の講座

➤ 遭難事例研究（無雪期）入門編 座学

日時：6/2（火）19:30～21:00

場所：連盟事務所（Zoom 併用）

費用：500 円

申込：https://ws.formzu.net/dist/S11694473/（5月から）



事故に遭わないためには、他人の事故から教訓を学ぶことが有益です。ところが事故の雑誌記事や事故報告書はなかなか読みにくいもの。そこでこの講座では「どう読み込めばいいか」の事例を講演します。会社などで事故分析に使われていたツリー分析という図形を使い、パワーポイントなどで分かりやすくお話ししますので、初めての方もご安心下さい。

A：遭難とは事故とは事件とは、救助の謝礼とは

[文献 1]大阪府勤労者山岳連盟「事故防止は仲間の知恵で」2021年4月、p.56

B：北岳滑落遭難（2007年6月）：ツリー分析を学び、生還の教訓を学びます。

[文献 1]羽根田治『滑落遭難』（ヤマケイ文庫 2013年）p. 172

C：時の話題から：地震、台風、クマ、コンロ事故、ヤマレコ誘因事故など、時の話題から分析します。何を取り上げるかは、約1ヶ月前の時点でOWAF-MLにてお知らせします。

➤ 応急手当 入門編

日時：6/10（水）19:30～21:30

場所：連盟事務所

費用：500 円

申込：https://ws.formzu.net/dist/S24785920/（5月から）



山で仲間がけがをしたりや病気になったとき「何をしたらよいかわからない」「かえって悪化させるかもしれない」との思いから応急手当に踏み切れないということがあられるようです。この講習会ではそのようなことがないようにJPTECのテキストに準じて傷病者への対応手順を学びます。また傷病者への取りつき方、頸椎保護、回復体位、けが（洗浄、止血、ドレッシング）、よくあるねんざ・骨折の手当、熱中症対策などを皆さまと一緒に勉強しましょう。

➤ 夏山の気象 座学

日時：6/16（火）19:30～21:30

場所：連盟事務所

費用：500 円

申込：https://ws.formzu.net/dist/S69930015/（5月から）



夏山の気象に関する基礎的な事項を夏山の特徴をまじえながら解説をします。また、一般に入手できる地上天気図、高層天気図、天気予報などから、それぞれ何に着目して山の天気をどう予想するかを解説します。

➤ 遭難事例研究（無雪期） 実用編 座学

日時：6/30（火）19:30～21:00

場所：連盟事務所

費用：500 円

申込：<https://ws.formzu.net/dist/S82299274/>（5 月から）



夏山で怖いのはまず熱中症。ところが、荒天時には暴風雨で低体温症の死亡事故が起きます。

A：2006 年 10 月 20 日のブリザード遭難。秋の終わりに季節外れの雪に会い、死亡。引率したガイドさんが訴えられました。ツリー分析をやってみて、対策を考えます。

[文献 1]「10 月のブリザード」、羽根田治『山岳遭難の教訓』ヤマケイ新書 2015 年、pp.51-71

B：〔実技〕事務所にて、夏の防雨風(や冬の猛吹雪)の中でツエルトを張り、お湯を沸かして生き返る模擬体験をさせていただきます。

C：時の話題から：地震、台風、クマ、コンロ事故、ヤマレコ誘因事故など、時の話題から分析します。何を取り上げるかは、約 1 ヶ月前の時点で OWAF-ML にてお知らせします。

組織部主催： クラブ交流会のご案内

各会へのご案内

全会が参加できるクラブ交流会を六甲山で開催します。

身近な山で集中登山して交流・親睦を深めましょう。

- ・とき 11月7日（土）～8日（日）
- ・ところ 六甲山 神戸市立自然の家そうぞうのすみか（穂高湖周辺）
- ・参加費 宿泊・食事代 又は テント泊代
- ・内容 交流会・会員の山の動き報告会（海外・国内）と近況報告 他
- ・定員 50名規模
- ・登山 ①テント泊＝例） 柚谷～カスケードバレイ～穂高湖
②宿泊 ＝例） 摩耶ケーブル・ロープウェイ～アコニー坂～穂高湖

西本武志さん 残照の断片 1

OWCC 中川和道 20260500

西本武志さんが他界された。奥様 西本信子さまからのお電話によれば、4月17日。6月には86才となられる手前のご逝去だった。

長年、全国労山理事長、会長を務められた。登山時報の責任者のときには、1995年阪神大震災で崩壊した六甲山の取材に来られ、川上洋子さんがご同行された。2000年ピット・シューベルト来日を指揮され、百丈やぐらの発展やナイロンザイルの石岡安全基準を守るうえでご尽力いただいた[文献1]。

ここ10年くらい肺水腫、脳・心臓の血管のご病気を患われ、近年は自宅で療養を続けておられた。2026年1月の病院検診のさい、そのまま入院となり、最近点滴で過ごすことに。中川は学会で東京に行くたびにお会いしてきて今年も心待ちにしていたので、残念でならない(写真1)。

中川と西本さんで立ち上げた「平和と登山のあり方懇話会」は、結構大きな波紋となった。安田一郎さんが理事長の時代、中川を大阪に招いて「平和と登山の講演会」を開いて下さったときも、中川は西本さんに入りびたりで教を乞うて講演の準備をした。今はもう古い話だが、西本武志・中川和道・松島正光で作った「平和と登山会誌 No1」(写真2)が歴史の証人だ。

西本さんとは、週1くらいで電話を受け、かけ合う日々が30年近くも続いた。「特に用事はないんだけどさあ」、とかいう電話が来たり、こちらからもかけた。西本さんとの思い出の電話がいくつかある。それを綴ろう。

2019年10月25日、西本さんからの電話。前半はナイロンザイルの安全基準の話。その実効性について、微に入り細に入り、ぎちぎちと議論した。今日はえらくとんがった論戦だった、さあ、電話が終わるかなと思った。すると、急に語調が変わった。やや明るい声で、何と、「実は、再婚したんだ」とおっしゃるではないか！「宮城県連の人なんだ」、えっ、あっけにとられた。中川は、豆鉄砲を喰らったハトになった。信子さんのことだった。

電話の前半は、ナイロンザイルの安全基準の話。1975



写真1. 2025年11月28日 ご自宅にて

平和と登山会誌 NO.1

目次

よびかけ	2
申し合わせ	3
【巻頭言】 時りと運命をもって	西本 武志 4
【論文】 登山の分野における平和運動	中川 和道 6
東の「遊び人」の魂をもっと広く	
『山と探検』85号を読んで	上野 司 1.0
15年戦争下の戦役参人ノート	
“おだのめ”を他にしないために	西本 武志 1.4
【例会報告】 (1) 発見の多い、戦時下の足跡本「山岳雑誌なぜ？」	2.8
(2) 日中協会の設立と登山の新しい潮流・中国の山々にもあふれて	3.0
(3) 戦時下登山はどのようにしていたか？	3.1
(4) 自衛隊はなぜ存在しているのか・レンジャー部隊の発展	3.4
(5) 登山の生知学データと人体実験の是非	3.7
(7) 戦後山下のクライミング・ポータランド事情	4.2
(8) 世界の山岳探検	4.4
(9) 戦時下の登山は組織	4.5
(10) テンダ・アグワ・クワの登山探検と登山	
高野あけみ「戦時探検隊にふれて	4.8
【巻末報告】 「きつろの出・あしたの山」	5.7
【寄稿】 奈良国史と自衛隊・“探検の戦時行状”を告発する 自 幸一	5.8
イタリヤ・ブレンシアの山	中川 和道 5.8
山の探検をみたことがありますか？	田原 輝之 5.4
高校級登山は自衛隊者否	2.7
会員名簿	7.0
編集後記	7.0

平和と登山のあり方懇話会

写真2. 平和と登山のあり方懇話会の会誌 No. 1. 1982年10月20日。

年に石岡繁雄氏らが作った安全基準は 2000 年来日のピット・シューベルト氏に引き継がれ、エッジ試験 UIAA108 条として UIAA で実践された[文献 1]。その契機になった通産省役人との会談(ピット氏+西本他+通産省お役人 3 名)の、3 名の名刺が出てきたという[注 1]。そりゃ登山技術史にとって重要史実だね、と話に花が咲いた(詳細は[文献 1])。

西本さんはその後、ピットさんをドイツに訪ね、一緒に山に登られた。写真は、「生と死の分岐点 第 2 巻」[文献 2]84

ページから。ヨーロッパにはよくある「フェラータ」を登っておられる。岩壁に作られた鉄のはしごや固定ワイヤーに落下防止のカラビナを複数かけ、それをかけかえて岩登りを楽しむ。CASSIN のヘルメットが大好きだったんだよね・・・。西本さんの明るい声が聞こえてくるようだ。



写真 3, 4. 2003 年頃。ピットさんとフェラータを登る。

もうひとつ、平和と登山について電話の思い出がある。「山と仲間」編集部から「西本武志さんという方に電話してみる」とお勧めをいただいた。仕事帰り、JR 吉祥寺南側の電話ボックスから、おずおずと電話した。緊張のあまり、どんな会話をしたか、とても覚えていない。とにかく、話がトントン拍子に進み、「平和と登山のあり方懇話会」の立上げが実現した。「懇話会」の原点となった電話ボックスは中川にとって、まさしく聖地だ。あの電話は、今はもう、ないだろう。それでも、あの場所にもう一度立ち寄り、西本さんとの出会いをかみしめてみたい。

西本さん、ありがとう。安らかに・・・。

[文献 1] 中川和道、「百丈やぐらから石岡繁雄氏がピット-シューベルトに渡したエッジ試験基準」、山楽登山の世界 60、大阪労山ニュース 2023 年 5 月号。

[文献 2] Pit Shubert, "Sicherheit und Risiko in Fels und Eis, Band II ", Munchen 2002, ISBN 3-7633-6018-2.

[注 1] ピット シューベルト来日時 ロープ安全基準の議論に来た 3 人のお役人の名刺は、

白田良幸 通産省製品安全課 課長補佐
馬場成之 評価技術センター北関東支所 検査調査課長
並木英夫 評価技術センター北関東支所 技官

登山中クマに襲われなかったために



そのためにはクマを知ることだ

小池伸介（東京農工大学大学院・グローバルイノベーション研究院教授日本クマネットワーク代表）

冬号 PART1 では、「クマに何が起きているのか、そして、クマはどのような動物なのか？」を小池伸介（東京農工大学院・教授）の記事を紹介した。クマの出没件数や人的被害のほとんどは森林や河川敷などのクマの生息地が多かったが、私たちの生活圏である市街地や人家周辺、公園などに現れたのが7割

に上っている。一方、昨年1年間で登山中にクマの被害に遭った事例は新聞では数えるほどである。PART II では、2025年に登山中にクマに襲われた事件を紹介するとともに、遭遇したらどうするかも大切だが、クマに会わないための方法が重要である。不幸にもクマに遭ったらどうするかを紹介する。

2025年登山中のクマ被害

特に大きく報じられたのは、北海道・知床での死亡事故です。8月14日、羅臼岳の登山道を下山中だった20代の男性がヒグマに襲われた。一緒にいた友人がクマ撃退スプレーを使用した。男性は林の中に引きずり込まれ、翌15日に遺体で発見された痛ましい事故でした。

同じ8月に富山・折立から登った太郎平キャンプ場（薬師岳付近）で、テントがクマに襲われ、中の荷物ごと持ち去られる事案が発生した。幸い負傷者は出なかったが、登山者の食料を狙う行動が問題視された。

最近では今月に岩手県・宮古市内の雪山登山中に男性が雪の穴に落ちた際、その中で冬眠していたクマに足を噛まれるという珍しい事故が発生した。

特徴として3つあげられる。羅臼岳の事故のように母グマの凶暴化だ。子連れのみグマ

が防衛本能から非常に攻撃的になるケースが目立つ。2つ目は学習能力を高めたクマの増加である。人間のザックやテントに「食料がある」と学習したクマが、登山者に執拗に付きまとう事例だ。

そして東北地方のクマは 稲を食べるようになってきて、米に対する執着心が非常に強く危険である。3つ目は生息域の拡大である。以前はクマが出なかった低山や市街地に近いハイキングコースでも遭遇・被害が多発していることだ。里山型のクマは人をよく観察していて、人を恐れなくなっている。

クマに関する基礎知識

2025年の教訓として、「クマ鈴を鳴らしていても、風下や沢浴いではクマに音が届かない」ことや「逃げるものを追う習性」が改めて強調されている。私たち登山者はクマ対策の正しい

知識を持つことが大切である。クマに関する基礎知識を共有したい。

①クマに嗅覚は犬の3倍である

クマの嗅覚は犬の3倍です。餌を取るため山の高いところ、稜線を歩く。また木々の鬱蒼としたところよりも臭いを取るために明るく開けたところを好む。

②「朝夕」はクマの活動のゴールデンタイム

・クマは朝方と夕方によく見かける。薄明薄暮性（はくめいはくぼせい）」という習性をもっている。大体朝10時から16時頃はクマと出会う確率は低い。クマは体温調節がうまくできない動物なので、日中の直射日光や暑さを避ける傾向がある。そのために涼しい朝夕は、エネルギー消費を抑えて効率よく移動・採食ができる時間帯である。また、天候が曇りや雨の日、霧が深い日は、日中も暗いためクマの捕食時間が延びることがある。

③クマの視力は良くない。

良くないが薄暗い時間帯でも動くものを察知する能力に長けている。視認性のバランスが良い動物である。

④クマは人間を怖がる動物

クマは本来、人間を避ける動物である。人間が活発に動く日中を避け、その前後の時間帯に活動を移動させているので、一人での山歩き、クマの活動ゴールデンタイムは避けるべき。

⑤クマは冬眠前が餌漁り・食欲旺盛。

8月中旬～冬眠するまでが食欲旺盛になり食料への執着が高まり、特に10月中旬～12月中旬までが餌とりの執着が強く極めて危険である。

⑥広葉樹と針葉樹での生息地

クマのエサはドングリ、ブナの実などの餌ある落葉樹帯を動き回っている。基本的には杉、檜、松などの針葉樹林帯では見かけないので、

危険を察知する意味で植生を知ることである。PART1で述べたようにクマは「雑食性の動物」「森の掃除屋」なので何でも食べている。

⑦クマの危険なサイン

子グマを木に押し上げている母グマは非常に危険である。また首を上下に振るのは威嚇している証拠、危険である。特にぬいぐるみのようにベタンと座った姿勢は非常に危険なサインである。すぐ逃げろ！クマはこの状態から襲いかかってくる。

⑧クマの「戻り足」

足跡を追跡していると突然足跡が消え、どこへ行ったのかわからない時がある。クマは追跡をかわすため、進んだ歩幅と同じ歩幅でもと来た道に戻る習性がある。

クマに会わないための「予防行動」

一番はクマに出会わないことである。クマは本来、人間を避ける動物です。こちらの存在を早く知らせ、クマが逃げる時間を作ってあげることが重要である。

①音で存在を知らせる（時間と場所で使い分ける）

熊鈴・ラジオ：常に鳴らし続けるのが基本ですが、風が強い日や沢沿い（水音が大きい場所）では音が消されるため、ホイッスルを吹いたり、大きな声を出したりして意識的に強い音を立ててください。鳴らしっぱなしのラジオも人がいることを知らせるのに効果があるが、逆にクマの発する警戒音が気付きにくい。

②見通しの悪い場所：カーブの先や藪（やぶ）が濃い場所では、手を叩くなどして事前にこちらの存在を伝えます。

③口笛、歌声はどれも効果がある。また、ドンドンと足や杖で地面に伝わる振動も有効である。爆竹も紹介されているが、遠くにいる場合

は効果あるが、近場では逆にクマが驚いてその場に立てこもったり、こちらに向かってくる場合がある。

④グループで歩いているときは仲間同士の話声もあるので、クマに襲われた事例は聞かない。だから生息地に入っていくときは一人では山歩きをしないことだ。

逆にクマの発する警告音に注意してほしい。バンバンと激しく地面をたたく音や特有のうなり声はクマの警告音だ。この場合クマはすぐには襲ってこないなので速やかに逃げよう。「おーえ、おーえ」と叫ぶような声は母グマが子グマを呼ぶ声なので、近くに母グマがいるということを知って警戒して欲しい。

クマ情報の収集

山に入る場合は、事前にクマ情報を入手する事。例えば、私の地元日光山域にハイキングするとしましょう。日光山域のように広大なエリアに入る場合、情報の鮮度と専門性によって「行政窓口」と「現地ビジターセンター」の2箇所を使い分けるのが最も効果的である。日光警察署も情報を持っているが、登山者が事前に情報を収集する場所としては、以下の窓口が詳細な「山の状況」を把握している。

1. 日光山域の場合、どこに確認すべきか。一つは行政窓口として、日光市 環境森林課 自然環境係だ。環境森林課の役割は、市内全域（人里に近い場所から山間部まで）の目撃情報を集約している。2つ目は日光湯元ビジターセンターまたは日光自然博物館赤沼自然情報センター（低公害バス発着所）だ。登山者にとって最も重要な窓口で、ハイカーからのリアルタイムな目撃情報を地図にまとめて掲示している。特定の登山道（例：戦場ヶ原、白根山、男体山周辺）の危険度を詳しく教えてくれる。

2. 栃木県警察「ルリちゃん安全メール」の利用もある。警察は主に「住宅街に出た」などの緊急性の高い情報を発信している。登山の数日前から「ルリちゃん安全メール」登録しておくと、近隣の出没状況がスマホに届くので便利だ。

山に入る事前活動として以下のルーチンを推奨する。

3日前：自治体（日光市など）のHPで「クマ出没マップ」を確認。

当日朝：登山口にあるビジターセンターや掲示板をチェック。職員がいれば「最近、このルートで目撃はありますか？」と直接聞くのが一番確実です。

歩行中：新しいフンや足跡、木の幹の爪痕がないか、足元と周囲を常に観察します。

クマ対策は「これさえあれば完璧」というものではなく、**「音出し」「情報収集」「スプレアの携行」**をセットで行うことが大切です。特に日光周辺は観光客も多く、クマが人間に慣れている場合もあるため、常に周囲の気配（ガサガサという音や、動物の臭い）に敏感でいてくださいね。



登山者の皆様へお知らせとお願い

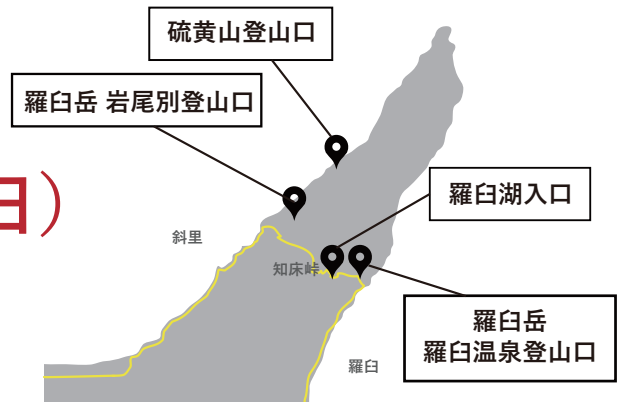
知床の登山道再開にむけた 今後の取組みについて

2025年8月に羅臼岳で発生したヒグマ人身事故の影響により、下図の登山道・遊歩道は現在閉鎖中です。
2026年7月からの利用再開を目指し、再発防止の対策を準備しています。

閉鎖解除予定日：

2026年7月5日(日)

※諸事情により日程が変更となる場合があります。



ヒグマによる人身事故を防ぐためのお願い

知床半島は、ヒグマが高密度に生息している場所です。ヒグマのリスクを理解し、最新情報の確認と事前の準備をしてください。**登山道が開いている＝絶対安全ではありません。**

リスクを把握し、自らの技量や装備を踏まえたうえで、「**登る・登らない**」の判断はご自身で行ってください。
登山計画書の提出も忘れずをお願いします。

突然の遭遇を防ぐ



ヒグマとの予期せぬバツタリ遭遇がもっとも危険です。

登山の際は、「クマ鈴や声出しなどで音を鳴らす」「見通しの悪い場所や暗い時間帯は特に注意する」「単独行動を避ける」などの対策をご自身でしっかりと行ってください。

万が一に備える



万が一、登山道でヒグマから攻撃を受けた場合に備え、「クマ撃退スプレー」を携行することを強く推奨します。またスプレーは、ザックの中などに入れず、すぐに取り出せる場所に身に着けてください。ホルスター等に入れ、誤射しないようご注意ください。

※クマ撃退スプレーは、知床自然センター、知床羅臼ビジターセンター、ルサフィールドハウスにて貸出を行っています(¥1,100/24H)。

引き寄せない



ヒグマは非常に鼻の良い動物です。人間の食料やゴミの匂いでヒグマを引き寄せないよう、**匂いが出るものは密閉式の袋に入れる**などしてください。山中で泊まる場合は決められた野営地に泊まり、食料やゴミは必ず野営地に設置している**フードロッカー**に保管してください。

事故再発防止のための新たな取組み

登山エリアでのヒグマ情報の提供

登山口やウェブサイトから登山者に向けたヒグマ情報の発信を強化します。特に、登山前に確認が必要なヒグマの目撃情報や注意喚起情報などは随時更新し、発信する予定です（7月～9月）。

ヒグマリスクに応じた登山道の緊急閉鎖

登山道で危険な行動をとるヒグマ（問題個体）が確認された場合など、人身事故のリスクが高いと判断された場合、各登山口を緊急的に閉鎖します。

問題個体への厳格な対応

危険な行動をとるヒグマ（問題個体）への捕獲を含む対応の強化を図ります。自然公園法等に基づくヒグマへの接近・餌付け行為への厳格な指導を実施します。

疑問を解消し、万全の準備で山へ向かいましょう

再発防止対策と今後の登山道利用に関する Q & A

1

登山道の利用が再開されるということはもう安全ということですか？

いいえ。山にはヒグマに限らず、天候による低体温症、落石、滑落等、様々なリスクがあります。登山口が開いていてもそのリスクがゼロになることはありません。自分の安全は自分で守ることを原則とし、ご自身の技量や装備、知識を含む事前準備を今一度確認して、登山の実施や行動の判断をしてください。

2

登山口の閉鎖は事前に予告されますか？閉鎖した際はどこに情報が掲示されますか？

緊急的に判断するため、予告はできません。ただし、閉鎖した場合はウェブサイト等でリアルタイムに情報を更新し、登山口の掲示板にも情報を発信します。登山前にはHP「知床情報玉手箱」や「知床のひぐま」をご確認ください。

知床のひぐま：<https://brownbear.shiretoko.or.jp/>
情報玉手箱：<https://center.shiretoko.or.jp/i-box/>

3

「新たな取組み」は他の遊歩道でも施行されるのですか？

今回の取組みは羅臼岳登山道（岩尾別コース、羅臼温泉コース）、硫黄山登山道、知床連山縦走路、羅臼湖遊歩道を対象として実施するものです。

知床岬へ向かう海岸トレッキングや沢登り、冬山登山などは対象としていません。従前通りご自身の責任と判断に委ねられます。

4

登山中に登山口が閉鎖になった場合、どうすればいいですか？

もし山行中に登山口閉鎖の情報を得た場合は、最新情報の入手に努めるとともに登山を中止してください。下山時には自身の周囲に十分注意しながら進み、別のパーティーがいる場合は、できるだけまとまり複数人で下山を試みてください。

5

登山者に求められる対策や手続きはありますか？

知床地域での登山の計画にあたっては、利用の心得（ルール）の確認と遵守をお願いします。また、求められるヒグマ対策についても心得にまとめられています。また、登山前にはリスク情報（注意喚起情報）を必ず確認して下さい。利用の心得やリスク情報については準備ができ次第、ご案内予定です。

6

今後、登山道の利用可能な期間は固定されるのですか？

今年度は、再発防止対策の準備のため、登山口の利用は7月5日以降としています。登山道の再開以降は、利用期間などを定める予定はありませんが、登山道を対象とした情報発信や緊急閉鎖などのヒグマ対策は、主に7月～9月の期間に行う予定です。

最新のヒグマ出没情報については、右記のサイトからご確認ください。
<https://brownbear.shiretoko.or.jp/>



知床のひぐま

2025年8月のヒグマによる羅臼岳人身事故の報告書および再発防止策の概要については、下記 URL よりご確認ください。

知床データセンターHP(環境省)

<https://shiretokodata-center.env.go.jp/press/houdou.html>

！！ 筋トレ 六甲山登高 能力テスト 開催！！

- ・とき 2026年4月11日(土)
- ・ところ 北芦屋公園～滝の茶屋～中央稜～風吹岩～雨ヶ峠～七曲～六甲最高峰
931m
- ・参加者 兵庫32名 大阪15名
- ・スタッフ 8名(兵庫6 大阪2)

兵庫・大阪主催の筋トレ登高テストが六甲山で行われました。

1 回目は昨年10月行われ、今回は同じルートで、スタートは北芦屋公園を8:10 8:30 8:50発に出発、六甲最高峰でタイムを確認します。参加者はそれぞれ単独で歩き、スタート時刻と最高峰到着時刻を記録し、1回目の時間と比較してどれだけ短縮されたか筋トレの成果を確認します。



山頂受付後の休憩



ゴールの感動



ツクガーデン中央稜展望広場



七曲りの サザンカ道

5月2日（土）奥びわ湖山門水源の森 保全活動体験記

自然保護委員会主催（記：八尾山の会 中路）

先日、滋賀県長浜市に広がる「山門水源の森」の保全活動に参加してきました。豊かな湿原と数多くの動植物がいるこの美しい森を次世代に引き継ぐため、今回は登山道の補修作業に汗を流しました。

想像以上にハードな「歩荷」の試練

今回の主な任務は、登山道の浸食を防ぐための作業です。

- 1. 製作：**まずは倒木や間伐材などを粉砕したチップを土嚢袋に詰める作業からスタート。
- 2. 歩荷：**ポイントに積み上げられた重い土嚢を背負い、急勾配の登山道運び上げます。
- 3. 敷設：**露出して傷んでしまった木の根を、保護するようにチップを丁寧に敷き、平らにならしていきます。



活動を終えて

むき出しになっていた登山道の木の根が、自分たちの運んだチップでふんわりと覆われた光景を見たとき、これまでの疲れが大きな達成感に変わりました。

私たちが1歩踏み出す道は、誰かの手によって守られている。今回の活動を通じて、自然を楽しむだけでなく「保全活動に参加」することの重要性を再確認しました。心地よい疲労とともに、山門の豊かな森がより一層身近に感じられる1日となりました。

参加者の感想

- またまた美しい山門の森へ。今回は保全活動に参加。2018年の台風で倒れたというヒノキの再利用でチップになったものを土嚢袋に詰める作業から。午後からは土が削られ木の根が出てきている遊歩道にそのチップを埋めて行きました。でも、広大な自然の中ではほんの少しの…ホントにちっぽけな行いでした。この日は他にもいろいろな作業をされていて、こんな風に気の遠くなるような手間と時間をかけて守られているんだな…どの山も…と実感しました。
- 今日は普段出来ない貴重な体験させて貰いました。足手まといになってないかな？スタッフの方がホントに色々教えてくれたけど唯一覚えているのは、ゆずり葉だけです。それでも大満足です。でも参加の皆さんのエネルギーな力、さすが山やさんですね(笑)
- 山門の気持ちのいい緑の森の中で、少しだけですが、自然保護のお手伝いをした満足感と植物の面白い植生を知ることが出来て、充実した1日になりました。

2025年 子どもの冒険学校「明日香」ハイキングの報告 アウトドアオールラウンダーズ 大見則親

2025年11月8日に、明日香でハイキングを開催しました。
コースは、飛鳥駅→亀石→甘樫丘→蘇我入鹿の首塚→万葉文化館です。
当日は こども8人 大人9人 スタッフ7人の総勢24人。

飛鳥駅は人が多く町の雰囲気でしたが、欽明天皇陵から亀石までの道は丘の端っこをくねくねと通っていく田圃道、どこか私の故郷に似た風景でした。
途中では柿や野菜の無人販売所もあり、大人も楽しめるコースです。



亀石



途中の風景



鬼の雪隠



入鹿の首塚



甘樫丘下山口

コースは結構長く、途中の鬼の雪隠では「鬼」という響きが怖くて泣きだす可愛いお子さんもいましたが、途中でゲームを楽しんだりして、全員完走できました。

2026年度は、11/15(日)に開催予定です。場所はドンヅル峰周辺。乞うご期待！

事故一報

提出者	氏名		会員番号		地方連盟	大阪府 勤労者山岳連盟	
	団体名				団体番号		

事故者	氏名		会員番号		年齢		性別	
------------	----	--	------	--	----	--	----	--

事故発生日時	年月日		時刻		<input type="radio"/> 有雪期	<input type="radio"/> 無雪期
---------------	-----	--	----	--	---------------------------	---------------------------

事故発生場所	山域		都道府県	
	山名	(標高 _____メートル)		
	場所			

山行の形態	
	手書きの場合は下記いずれかに○
	無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー クロスカントリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練

事故の原因	
	手書きの場合は下記いずれかに○
	転・滑落 転倒 落石(落水) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷 雪崩 虫・動植物 荒天
	その他 _____

パーティー人数		救助捜索費	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	ココヘリ加入	<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
----------------	--	--------------	---	--------	---

事故の状況	
--------------	--

傷病名	
------------	--

交付申請の予定	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input type="radio"/> 未定	全国労山に提出とともに、大阪労山にも提出して下さい。 jikotodoke@googlegroups.com Fax 06-6467-8545
----------------	---	---

交付申請書	受取人	<input type="radio"/> 基金担当者 <input type="radio"/> パーティーリーダー <input type="radio"/> 会・クラブ代表者 <input type="radio"/> その他					
	送付形式	<input type="radio"/> 書面の郵送 <input type="radio"/> PDFファイルのメール送信					
	送付先	氏名		会員番号		電話番号	
		郵便番号		住所			
メールアドレス(メール送付の場合は必須)							

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★**事故一報と共に、会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 労山基金運営委員会 フリーダイヤル 0120-44-2742(平日10時～18時)

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

- **登録方法** 公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分らない場合は直接登録いただいても構いません。

- **各会登録担当者様へ**

各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただきます。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。



- **登録申請フォーム** <https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>

登録申請フォーム

- **編集後記**

今月号には「クマ対策」の情報を2件掲載しました。その心づもりでいたところ、5/23の朝日新聞朝刊を、見てビックリ。朝刊5面に政府広報/環境省の全面広告。「クマにご注意ください」山菜採りに行く人へのよびかけです。クマに出会わないための6ヶ条が掲載されていました。

1. 出没情報を事前に確認する。2. 一人で行動しない。3. 早朝・夕方を避ける。（明け方や日の入り前後はクマの行動が活発になります。）4. ラジオや鈴を鳴らし続ける。（国立登山研修所の最新の「登山研修」には沢筋など音の聞こえにくい場所では笛を吹き続けるのも効果があるようです。）5. 常に周りを注意する。6. 痕跡を見つけたら静かに立ち去る。（フンや足跡、爪痕、…山の中では熊棚にも注意が必要です）

登山研修 No. 41 はツキノワグマ対策「withBear」時代の登山術という論文がありました。まだまだ実態が知られていないクマ。この標題のように「withBear」時代の登山術を見極める必要があるようです。（5/24 高橋明代 記）

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれび通信（山の会こもれび）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、八尾山の会

発行日 2026年（令和8年）5月25日 No.483（2026年6月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西